

一般財団法人 共立国際交流奨学財団

平成 24 年度事業報告書

(平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

I. 財団の管理・運営

寄付金の受入

株式会社共立メンテナンスからの寄附金（使途不特定、但し一部は株式会社共立メンテナンス奨学基金奨学金 25 名分）及び個人 3 名からの寄附金（現地奨学金 3 名分）を受け入れました。

会議の開催

第 8 回理事会 (平成 24 年 6 月 7 日)

平成 23 年度事業報告、決算報告及び公益目的支出計画実施報告が承認されました。選考委員会委員 5 名の再任が承認されました。旅費規程（国内・海外）の改定が承認されました。第 8 回評議員会の招集が承認されました。

第 8 回評議員会 (平成 24 年 6 月 22 日)

平成 23 年度事業報告、決算報告及び公益目的支出計画実施報告が承認されました。理事 3 名の再任及び増員に伴う理事 4 名・監事 1 名の就任が承認されました。役員報酬規程の制定及び役員定例報酬額の決定が承認されました。

第 9 回理事会 (平成 24 年 6 月 22 日)

理事長及び常務理事の選定が承認されました。

第 10 回理事会 (平成 25 年 3 月 6 日)

平成 25 年度事業計画及び収支予算、平成 25 年度奨学生 40 名が承認されました。共立財団日語学院運営用不動産取得が承認されました。金銭消費貸借契約締結及び基本財産の担保供与が承認されました。第 9 回評議員会の招集が承認されました。

第 9 回評議員会 (平成 25 年 3 月 18 日)

平成 25 年度事業計画及び収支予算が承認されました。共立財団日語学院運営用不動産取得が承認されました。金銭消費貸借契約締結及び基本財産の担保供与が承認されました。

内部統制の整備

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」第 76 条第 3 項第 3 号及び第 90 条第 4 項第 5 号に規定する体制の整備についての決定及び決議は特にありませんが、今後審議を進めていくこととなりました。

Ⅱ. 奨学金支給事業（継続事業 1）

留学生奨学金の支給

一般財団法人共立国際交流奨学財団奨学金（月額 10 万円・期間 2 年間）を、平成 23 年度生 14 名及び平成 24 年度生 15 名、合計 29 名に平成 24 年 4 月から平成 25 年 3 月まで支給しました。

㈱共立メンテナンス奨学基金奨学金（月額 6 万円・期間 1 年間）を、平成 24 年度生 24 名に平成 24 年 4 月から平成 25 年 3 月まで支給しました。

現地奨学金を、ベトナム 2 名、ラオス 1 名、ミャンマー 2 名 計 5 名に支給しました。

選考委員会の開催

第 20 回選考委員会 （平成 25 年 2 月 25 日）

奨学金対象校から推薦のあった平成 25 年度奨学生候補者 354 名及び現地（大韓民国・ベトナム）奨学生候補者 5 名について、審査の結果、一般財団法人共立国際交流奨学財団奨学金 15 名（現地（大韓民国）採用 3 名）及び㈱共立メンテナンス奨学基金奨学金 25 名の合計 40 名（現地（ベトナム）採用 2 名）を平成 25 年度奨学生候補者として選考しました。

現地奨学生選考会の開催

奨学候補生現地（大韓民国）選考会 （平成 24 年 9 月 15 日）

日本の教育機関（大学院、大学、専門学校）に進学を希望する応募者 50 名に対し、当財団菊川選考委員、北原選考委員が日本語による面接を行い、3 名が平成 25 年度一般財団法人共立国際交流奨学財団奨学金給付候補生に選ばれました。

奨学候補生現地（ベトナム）選考会 （平成 24 年 10 月 21 日）

日本の教育機関（日本語学校）に進学を希望する応募者 16 名に対し、当財団菊川選考委員が日本語による面接を行い、3 名が平成 25 年度㈱共立メンテナンス奨学基金奨学金給付候補生に選ばれました。（うち 1 名は受給条件を満たさなかったため採用せず）

Ⅲ. 国内・外の留学生に対する生活・学習情報提供事業（継続事業 2）

財団紹介のパンフレット『一般財団法人共立国際交流奨学財団（紹介・情報案内）Vol.18』、情報誌『アジア文流 Vol.31』『アジア文流 Vol.32』、留学生のための就職情報誌『共立・桜 Vol.13』、留学生のための日本生活案内『留学生生活手帳』を出版し、関係機関、他財団、大学、専門学校、日本語学校及び奨学生などに配布しました。

Ⅳ. 国際交流活動への支援（継続事業 3）

イベントの開催

第 15 回「日本体験コンテスト in 大韓民国」

当財団（東京本部・ソウル事務所）主催、文部科学省・在大韓民国日本国大使館公報文化院・日本政府観光局ソウル事務所・東亞日報・全日本空輸ソウル支店後援、株式会社共立メンテナンス協賛の標記コンテストを平成 24 年 9 月 15 日、大韓民国ソウル特別市ロッテホテルを会場として開催しました。

標記コンテストは、大学院・大学校・大学生を対象として、「日本で実現したい夢」「日本で体験したい事」をテーマに企画を募集しました。応募者 47 名の中から書類選考で選ばれた 16 名の企画優秀者の面接を実施、各々の企画をプレゼンテーションしてもらい審査委員による採点審査の結果入賞者 5 名が選ばれ、賞金として 30 万円が授与されました。

入賞者 5 名は、平成 25 年 3 月 15 日までにそれぞれの日本体験企画を実施し、その報告書を提出しました。

第 10 回「日本語体験コンテスト in 上海」

当財団（東京本部・上海委託事務所）主催、文部科学省・在上海日本国総領事館・全日本空輸上海支店・同杭州支店後援、株式会社共立メンテナンス協賛の標記コンテストを平成 24 年 9 月 22 日、中華人民共和国上海市甘泉外国語中学校を会場として開催する予定でしたが、中華人民共和国との諸般の事情により中止となりました。

第 5 回「日本語体験コンテスト in ホーチミン」

当財団主催、文部科学省・在ホーチミン日本国総領事館・駐日ベトナム大使館・全日本空輸ホーチミン支店後援、株式会社共立メンテナンス・株式会社ローソン協賛の標記コンテストを、平成 24 年 10 月 21 日ベトナム社会主義共和国ホーチミン市 165 NAM KY KHOI NGHIA GUEST HOUSE を会場として開催しました。

標記コンテストは、日本の高等教育機関に留学を希望する学生や、日本語を現地のベトナム国家大学ホーチミン市人文社会科学大学・ドンズー日本語学校・さくら日本語学校・サイゴンランゲージスクールで学んでいる学生等を対象に実施し、58名が参加しました。

午前中に行われた予選会では、日本の時事・文化・歴史等に関する選択式の聴き取り問題 30 問が出題され、20 名が予選を通過し、午後の本選会に出場しました。本選会では、3 分間の即興スピーチを行い審査委員による採点審査の結果、入賞者 5 名が選ばれました。

入賞者 5 名は「夢・日本体験賞」として賞品旅行 5 泊 7 日（平成 25 年 1 月 29 日～2 月 4 日）に参加し、日本の学校見学、研修観光等のプログラムを通し、日本の教育環境、文化などに触れ日本について理解を深めました。

第 2 回「日本語体験コンテスト in ヤンゴン」

当財団主催、在ミャンマー日本国大使館・全日本空輸ヤンゴン支店後援、株式会社共立メンテナンス協賛の標記コンテストを、平成 24 年 10 月 24 日ミャンマー連邦共和国ヤンゴン市 Park Royal Hotel Yangon を会場として開催しました。

標記コンテストは、日本の高等教育機関に留学を希望する学生や、日本語を現地の MOMIJI 日本語センター・WIN 日本語学校等で学んでいる学生を対象に実施し、52 名が参加しました。

午前中に行われた予選会では、日本の時事・文化・歴史等に関する選択式の聴き取り問題 30 問が出題され、18 名が予選を通過し、午後の本選会に出場しました。本選会では、3 分間の即興スピーチを行い審査委員による採点審査の結果、入賞者 5 名が選ばれました。

入賞者 5 名は「夢・日本体験賞」として賞品旅行 5 泊 8 日（平成 25 年 1 月 29 日～2 月 5 日）に参加し、日本の学校見学、研修観光等のプログラムを通し、日本の教育環境、文化などに触れ日本について理解を深めました。

第 13 回「日本人学生の『アジア体験』コンテスト

当財団主催、文部科学省・外務省・産経新聞社後援、株式会社共立メンテナンス協賛の標記コンテストの企画募集及び選考を行い、平成 24 年 11 月 17 日、共立財団日語学院を表彰会場として入賞者の表彰式を開催しました。

標記コンテストは、大学院・大学・短大・専門学校生を対象として、「ラオス・インドネシア・ミャンマーで体験したいこと」をテーマに企画を募集しました。応募者 29 名の中から、書類選考で選ばれた 16 名の企画優秀者の面接を実施、各々の企画をプレゼンテーションしてもらい審査委員による採点審査の結果入賞者 5 名が選ばれ、「夢・アジア体験賞」として賞金 30 万円が授与されました。

入賞者 5 名は、平成 25 年 3 月 15 日までに、それぞれのアジア体験企画を実施し、その報告書を提出しました。

助成金の支給

日本人学生の「国際ボランティア支援基金」

日本人学生（高校生・専門学校生・短期大学生・大学生）を対象に、アジアに関する「国際ボランティア」の企画を募集し1名が採用されましたが、企画の開催地であるフィリピンで発生した地震（M7.6）の影響により活動の中止を決定し辞退されました。

研修会の開催

奨学生及び一般学生（留学生・日本人学生）も参加し、相互理解と国際親善交流を促進するための研修会を実施し、訪問地におけるホームステイ、史跡・歴史的建造物見学、ディスカッション等を通して、日本の文化・歴史・自然についても理解を深めました。

<各研修会報告>

第 67 回 奨学生研修会

開 催 地：北海道 函館市

開催期間：平成 24 年 6 月 2 日～4 日 2 泊 3 日

参 加 者：一般財団法人共立国際交流奨学財団 平成 23・24 年度奨学生 28 名

内 容：函館観光・田植え体験・農作業手伝い・交流会

第 68 回 研修会（不催行）

共 催：一般財団法人共立国際交流奨学財団、オホーツク国際交流センター

開 催 地：北海道 オホーツク地域

開催期間：平成 24 年 8 月 21 日～31 日 10 泊 11 日

内 容：ホームステイ、各地域表敬訪問、親善交流

第 69 回 研修会

共 催：一般財団法人共立国際交流奨学財団、美幌町国際交流推進委員会

開 催 地：北海道 美幌町

開催期間：平成 24 年 8 月 22 日～27 日 5 泊 6 日

参 加 者：留学生 6 名

内 容：ホームステイ、学校交流、レスキュー体験、華道・ゴルフ体験

第 70 回 研修会

共 催：一般財団法人共立国際交流奨学財団、(財)北海道国際交流センター

開 催 地：北海道 函館地域

開催期間：平成 24 年 8 月 22 日～28 日 6 泊 7 日

参 加 者：留学生 17 名

内 容：ホームステイ、ファーム体験、函館観光

第 71 回研修会

開 催 地：沖縄県 東村

開催期間：平成 24 年 9 月 3 日～8 日 5 泊 6 日

参 加 者：留学生・日本人学生 30 名

内 容：ホームステイ、沖縄観光、マングローブ植樹体験

第 72 回研修会

開 催 地：北海道 標津

開催期間：平成 24 年 9 月 6 日～11 日 5 泊 6 日

参 加 者：留学生・日本人学生 16 名

内 容：ホームステイ、カヌー・フィッシング体験、郷土料理づくり

第 73 回研修会

開 催 地：北海道 標津

開催期間：平成 25 年 2 月 7 日～12 日 5 泊 6 日

参 加 者：留学生 20 名

内 容：ホームステイ、冬まつり、スキー体験、サーモン科学館見学

第 74 回 研修会

開 催 地：沖縄県 伊江島

開催期間：平成 25 年 2 月 18 日～23 日 5 泊 6 日

参 加 者：留学生・日本人学生 17 名

内 容：ホームステイ、海岸清掃、沖縄観光

V. 日本語教育施設の設置及び運営

日本語教育施設として共立財団日語学院の管理及び運営を行いました。

VI. 留学生寮の設置及び運営

留学生の生活支援を行うため、つつじヶ丘男子学生会館・相模大野学生会館の国際交流会館 2 棟の管理及び運営を、また全国 6 地域（札幌・仙台・首都圏・名古屋・大阪・福岡）で「学習奨励寮」の運営を行いました。

また、平成 25 年 3 月 28 日付にて賃貸用不動産（所在地：東京都文京区湯島 2 丁目 17-12／登記簿面積：土地 468.94 m²、建物 2,004.35 m²）を取得しました。

（物件の一部を日本語教育施設の事業所として利用する予定）